

未来への責任

すべてのひとが輝くために可能性を実現できる滋賀へ



Profile

生年月日
1973年7月22日
住所
大津市国分1丁目
家族構成
妻、長男、長女
趣味
読書バレーボール
好きな言葉
千里の道も一歩から

略歴
1997年3月 早稲田大学 理工学部機械工学科 卒業
1999年3月 早稲田大学大学院 理工学研究科修了
1999年4月 東レ株式会社 入社
(2008年12月～2010年11月
東レ労働組合 滋賀支部役員)
2011年4月 大津市議会議員 1期目
2015年4月 大津市議会議員 2期目
大津市消防団晴嵐分団 団員
<党役職の歴任>
民進党滋賀県連 幹事長代理
民進党滋賀県第一区総支部 副総支部長

facebook



Website



未来への責任

発行：かわい昭成後援会
2018年5月16日発行
第9号
かわい昭成 News Report

E-mail : otayori@a-kawai.net

URL : http://www.a-kawai.net/

後援会資料

日頃からの皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

2018年度の初めにあたり2017年度の活動などをまとめた後援会報を作成しましたのでご一読いただき、皆様のお考え、ご意見などいただけましたら幸甚です。

私たちが生活する現代社会の課題は、少子化による人口減少社会への対応です。まだ人口増・経済成長の時代につくられた仕組みや枠組み・制度の中で動いています。そのために地方議会は今まで以上に政策立案能力を発揮し、人口減少社会に合わせた仕組みに変革していくように取り組まなければなりません。一方で、「縮減」で切り詰めるばかりでは、夢や希望、楽しさがありません。厳しいときを乗り切るためには「縮充」となるよう、何か面白いことが起こる仕組みづくりも大切です。「地方創生」というキーワードが示すように、私たちが住むこの地域社会を「より住みよいまちとする」ために、地域自身が、地域に合った課題解決のカタチを見つけて実行することができます。

この意味で地方議会の役割は大きいと考えます。地域の課題解決に向けて、これからも、これまで同様に皆様の声を伺いながら、これまで以上に視野を広げ、政策提言に取り組んでいかなければならないと考え至りました。今回、私、河井昭成は、市議会から県議会へと活動の場を広げる決断をしました。これからは、皆さんにお支えいただき市議会議員として積み重ねた経験を活かして、新しいステージで、さらに社会のために取り組みを前に進めたいと考えています。今後とも引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



かわい 昭成

かわいの目指す3つの視点



子どもが健やかに
育つ・育てられる 環境の整備

こころ・からだ・あたま
生きる力と基礎学力を
身につける教育の推進

健康でいつまでも
生涯スポーツの推進と医療・
介護など福祉施策の充実



働くことを軸とした社会を
安定した雇用環境の
確保と各種産業の活性化

すべての人に**居場所**と**出番**
多様性を尊重した協働社会の構築

地域のことは**地域**で決める
情報公開と住民主体の地域自治の推進



守り伝える滋賀の豊かな自然と
文化・歴史 遺産の
保全と産業や観光への活用

つくるからつかうまでを考える
新しい**エネルギー社会**の構築

安全・機能的・コンパクト
将来を見据えたまちづくりの推進

かわいの動き

大津市の子供医療費助成を6年生まで拡充。 幼稚園の3年保育はじまる。

子育て世代からの要望事項として多かった子供医療費助成を小学校3年生までだったものを、6年生までに拡充。また、幼稚園を希望するお母さんからの声で多かった3年保育についても取り組みが進められています。どちらも最初は難しいとされていましたが、2016年の市長選で、政策協議の末、マニフェストに盛り込み実現。皆さんの声や想いを力々しくすることができた事例です。



ごみ焼却施設、 3カ所から2カ所体制へ

環境美化センターと北部クリーンセンターの2カ所体制で更新設備が進められています。

新設備では高効率の「ごみ発電」に取り組みます。

子育て支援になります! フィットティングボード、新たに設置される。

議会で幾度となく取り上げたフィットティングボード。昨年竣工した大石市民センターのみんなのトイレです。

子どものトイレのサポートでお父さん・お母さんが使うには、便器からやや遠いのが難点。便器やオストメイト対応の設備などとの位置関係を考えた設置が好ましいです。今後の課題として、設備担当の職員さんにお伝えしました。※フィットティングボードとは、トイレ内で大変便利な収納式の着替え台のこと。



2月議会 常任委員会 働き方改革は

昨年始まった「心のつながりレター」事業について、先生の一般的な作業量・時間をどの程度と想定したのか?教育委員会への質問です。明確な回答はなく、業務量は想定されていません。一方で、多忙と言われる先生に業務の効率化や削減を進めるようにとの指示が出されています。

働き方改革について様々な場所で様々な議論が行われ、大津市の学校現場や市役所の各部署でも取り組みが進められています。超過時間の管理強化や会議運営の見直し、業務の効率化などが対策とされますが、「業務量の把握」が適切に行われているのか?管理する側が、現場の業務について常に数字を意識し、必要な時間を適正に見積もることがまずは重要であると考えます。常任委員会の委員長として、その点を指摘しました。子どもに接する先生のための働き方改革が進むよう、引き続き取り組んでいきたいと思います。

6月 通常会議 学校開放、体育館などの備品管理は適切か

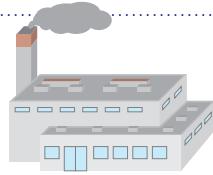
大津市でも学校体育施設の開放事業が行われていて、スポーツ少年団、ママさんバレーなど様々な年代・性別の市民の皆さんを利用しています。私も時々使わせてもらいますが、その時に気づくことがあります。

人とまちの魅力を引き出すことが市政の役割!!
皆さんのご意見、ご要望など お聞かせください。

後援会へのご入会については、
「かわい昭成後援会」までご連絡ください。

バレーボールやバトミントンの支柱などの備品類が傷んでいる…。バレーボールやバトミントンの支柱など、グラウンドや体育館の備品について、大津市として管理ができていない現状をどう考えるのか、適切な維持管理と計画的な更新が必要ではないか、と思いました。

大津市として備品の状況について把握できていないことに鑑み、まずは調査を行い、備品類の現状把握から始める。必要に応じて修理や更新を関係団体と協議しながら進めていく。との答弁でした。



9月 通常会議 非正規雇用への依存、問題意識を

「安定した雇用・収入があること」が子どもを産み育てるのに前向きになることができる要因であり、少子化対策に必要であるとされる中、不安定な雇用・待遇の差などが指摘される非正規雇用には様々な課題があります。大津市役所でも多くの業務を非正規職員が担っている現状を踏まえ、執行部に自己分析と評価について問いました。

全体の約4割に達する非正規職員は市政運営において必要不可欠な存在であり、再任用や定年延長をはじめ自治体の人事制度は転換期にあるという答弁でしたが、非正規雇用の問題点の認識は薄いと感じました。少子化社会対策に取り組む大津市において、役所の中でもこの点の課題設定が必要であると考えます。

かわい昭成後援会

〒520-0802 滋賀県大津市馬場3丁目13-28
TEL:077-523-2701 FAX:077-522-4477

URL : <http://www.a-kawai.net/>

